

政策 11 明日を担う子どもの育成

施策 01 幼児教育・保育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
幼児	幼児の成長に適した環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	幼稚園・保育所・こども園の待機児童数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【こども課】	人	11	3	11	→
評価	<p>(状況) 幼稚園・保育所・こども園の平成29年10月1日現在の待機児童数は11人で、前年度と比較し8人増えています。幼稚園は0人でしたが、保育所・こども園の合計が11人でした。なお、4月1日時点での待機児童数は平成24年度から平成28年度まで0人でしたが、平成29年度は23人でした。</p> <p>(原因) 保育所・こども園の入所申込が増えているためです。ただし、平成29年4月にアップル第二保育園が、9月に認定こども園のひらが開園し、保育の受け皿を増やしたことで、年度当初と比較し、10月1日時点では待機児童数は半減しました。</p>					目標 達成度	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 教育内容の充実
- 基本事項 02 多様な保育ニーズへの対応
- 基本事項 03 家庭や地域社会の教育力の向上
- 基本事項 04 安全・安心対策の充実

基本事項01 教育内容の充実

指標①	3～5歳の幼児教育を受けている児童の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【こども課】	%	64.3	70.7	73.8	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 市内3歳から5歳の子どものうち、幼児教育を受けている児童の割合は73.8%となっており、前年度と比較し3.1ポイント向上しています。年齢別の割合は、3歳児が59.0%、4歳児が76.6%、5歳児が86.1%となっています。</p> <p>(原因) 平成29年度は、認定こども園のひらの開園により、受け入れ児童数が増えたこと、また、5歳児保育料等の無償化により、幼児教育を受けている5歳児の割合が、平成28年度の78.4%から平成29年度の86.1%に向上したことが考えられます。</p>	(%)					☀ (向上)
							目標達成度

基本事項02 多様な保育ニーズへの対応

指標①	平成26年度に策定した子育て支援事業計画で定めたニーズ見込量に対するサービス供給割合 (1号・2号・3号)	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【こども課】	%	84.3	87.8	98.2	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 子育て支援事業計画で定めたニーズ見込量に対するサービス供給割合は、利用見込み数2,340人に対して実績が2,299人であったため、98.2%です。また、市内の入所者は、保育所は712人から787人に増加、こども園は1,036人から1,164人に増加、幼稚園は410人から348人へ減少しています。</p> <p>(原因) 平成27年度から子ども・子育て支援新制度が始まり、既存の保育所に加え、認定こども園や小規模保育所が整備され、サービス供給体制が整ったためです。</p>	(%)					☀ (向上)
							目標達成度

基本事項02 多様な保育ニーズへの対応

指標②	認定こども園 (幼稚園・保育所一体化施設) 整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【こども課】	%	20.8	29.2	32.0	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 認定こども園の整備率は、前年度と比較し2.8ポイント向上し、32.0%となっており、年々上昇傾向にあります。</p> <p>(原因) 認定こども園の整備については、平成25年度に1施設、平成26年度に1施設、平成27年度に1施設、平成28年度に2施設、平成29年度に1施設が整備されたためです。</p>	(%)					☀ (向上)
							目標達成度

基本事項03 家庭や地域社会の教育力の向上

指標①	地域のための開放・多世代交流をしている幼稚園・保育所・こども園の施設数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【こども課】	施設	13	14	14	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 地域のために開放・多世代交流をしている幼稚園・保育所・こども園の施設数は前年度と同数の14施設です。</p> <p>(原因) 地域の子育て支援のために相談、開放する子育て支援センターを併設している施設は7施設であり、市内各地域で充足しているため、新たな設置を行いませんでした。また、「おとしよりのふれあい事業」を実施している施設は、公立保育所7施設でした。</p>	(施設)					☀ (向上)
							目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 教育内容の充実
- 基本事項 02 多様な保育ニーズへの対応
- 基本事項 03 家庭や地域社会の教育力の向上
- 基本事項 04 安全・安心対策の充実

基本事項04 安全・安心対策の充実

	一斉連絡メールに登録している保護者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
指標 ①	【こども課】	%	83.3	85.8	85.1	→	☀ (向上)														
評 価	<p>(状況) 一斉連絡メールシステムに登録している保護者の割合は85.1%で、前年度と比較し0.7ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 安全・安心に対する保護者の意識の高まりとスマートフォン等の機器の普及、一斉メール配信システムの浸透により、登録割合が高い水準を維持しているものと考えられます。</p>	<table border="1" style="display: none; margin-top: 5px;"> <caption>登録している保護者の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>68</td></tr> <tr><td>H25</td><td>62</td></tr> <tr><td>H26</td><td>78</td></tr> <tr><td>H27</td><td>83.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>85.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>85.1</td></tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	H24	68	H25	62	H26	78	H27	83.3	H28	85.8	H29	85.1	目標 達成度
年度	割合 (%)																				
H24	68																				
H25	62																				
H26	78																				
H27	83.3																				
H28	85.8																				
H29	85.1																				

政策 11 明日を担う子どもの育成

施策 02 子育て支援の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
子ども、子どもの保護者	子育て支援の環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標①	この地域で子育てをしたいと思う保護者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【こども課】	%	96.7	96.5	96.5	→
評価	<p>(状況) 乳幼児健康診査(3・4か月、1歳6か月、3歳)の調査項目である、「この地域で子育てをしたいと思う保護者の割合」は96.5%です。内訳は、3・4か月児健康診査97.2%、1歳6か月健康診査95.9%、3歳児健康診査96.5%となっています。これは、厚生労働省が公表している「健やか親子21(第2次)」の最終評価目標値である95.0%を上回っています。</p> <p>(原因) 乳幼児期の子育て環境について、母子保健事業や子育て支援事業の実施により、保護者がほぼ満足しているためと考えられます。</p>						目標達成度

指標②	子育てに係る相談体制や保育サービスが充実していると感じる保護者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【こども課】	%	-	62.4	-	→
評価	<p>(状況) 子育てに係る相談体制や保育サービスが充実していると感じる保護者の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。この成果指標に影響のある基本事項を構成している事務事業の成果指標値が、向上、低下の両方があることから、横ばい状態と考えられます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な保育サービスの充実
基本事項 02	児童の健全育成
基本事項 03	子育て相談体制の充実
基本事項 04	各種経済的支援の推進
基本事項 05	発達支援サービスの充実

基本事項01 多様な保育サービスの充実

指標①	特別保育（一時保育、延長保育、病児・病後児保育）実施、子育て支援センター設置施設の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【こども課】	%	100	100	100	→	☀ (向上)														
評価	<p>(状況) 市内全ての保育所及びこども園計29施設で、特別保育の実施又は子育て支援センターの設置のいずれかを行っています。成果は100%です。</p> <p>(原因) 平成26年度からすべての公立保育所で延長保育を行っているためです。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>20</td></tr> <tr><td>H25</td><td>25</td></tr> <tr><td>H26</td><td>100</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	20	H25	25	H26	100	H27	100	H28	100	H29	100	目標達成度
		年度	実績値 (%)																		
H24	20																				
H25	25																				
H26	100																				
H27	100																				
H28	100																				
H29	100																				
							☑ (達成)														

基本事項02 児童の健全育成

指標①	児童クラブの待機児童数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【こども課】	人	28	14	8	→	☀ (向上)														
評価	<p>(状況) 児童クラブの待機児童数は8人で、前年度の14人と比較し6人減少しました。平成27年度以降、年々減少傾向にあります。</p> <p>(原因) 児童数の多い西袋地区において、平成29年4月に第三西袋児童クラブ館を新設し、児童の受け皿を増やしたことで、待機児童数は減少しました。一部の地区で高学年（4～6年生）の受け入れが難しい状況のため、今後、待機児童の解消に取り組みます。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>22</td></tr> <tr><td>H25</td><td>8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>12</td></tr> <tr><td>H27</td><td>28</td></tr> <tr><td>H28</td><td>14</td></tr> <tr><td>H29</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (人)	H24	22	H25	8	H26	12	H27	28	H28	14	H29	8	目標達成度
		年度	実績値 (人)																		
H24	22																				
H25	8																				
H26	12																				
H27	28																				
H28	14																				
H29	8																				

基本事項02 児童の健全育成

指標②	児童福祉施設の利用延べ人数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【こども課】	人	263,353	267,466	264,169	→	☀ (向上)														
評価	<p>(状況) 児童福祉施設の利用延べ人数は264,169人で、前年度と比較し3,297人（児童館321人減、児童クラブ館2,099人増、屋内遊び場5,075人減）減少しています。</p> <p>(原因) 児童館は、保育所・こども園内にある子育て支援センターの利用者が増えたために減少していると考えられます。児童クラブ館は、平成29年4月に第三西袋児童クラブ館を新設し、児童の受け皿を増やしたために、利用延べ人数が増加しています。屋内遊び場は、震災から7年が経過し、除染も完了したことから、外遊びをする子どもが増えたため減少していると考えられます。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>240,000</td></tr> <tr><td>H25</td><td>270,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>275,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>265,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>268,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>264,169</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (人)	H24	240,000	H25	270,000	H26	275,000	H27	265,000	H28	268,000	H29	264,169	目標達成度
		年度	実績値 (人)																		
H24	240,000																				
H25	270,000																				
H26	275,000																				
H27	265,000																				
H28	268,000																				
H29	264,169																				

基本事項02 児童の健全育成

指標③	放課後に安全に遊ぶ場所が確保されていると思う保護者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【こども課】	%	-	49.1	-	→	---														
評価	<p>(状況) 放課後に安全に遊ぶ場所が確保されていると思う保護者の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、子ども教室運営事業やファミリーサポートセンター運営委託事業などでは、年間延べ利用者数が増加していますが、放課後児童クラブ関連の事業では待機児童が発生しているため、横ばいと推測されます。放課後児童クラブ関連の事業では、平成27年度から対象が小学6年生までに拡大されたため、高学年の入所申込が増加し、待機児童が発生する要因となっていると考えられます。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>43</td></tr> <tr><td>H27</td><td>49.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>49.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>49.1</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	0	H25	0	H26	43	H27	49.1	H28	49.1	H29	49.1	目標達成度
		年度	実績値 (%)																		
H24	0																				
H25	0																				
H26	43																				
H27	49.1																				
H28	49.1																				
H29	49.1																				

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な保育サービスの充実
基本事項 02	児童の健全育成
基本事項 03	子育て相談体制の充実
基本事項 04	各種経済的支援の推進
基本事項 05	発達支援サービスの充実

基本事項03 子育て相談体制の充実

指標①	子育ての相談をする相手がない保護者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【こども課】	%	-	11.4	-	→	
評価	(状況) 子育ての相談をする相手がない保護者の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している事務事業の成果指標値は向上、低下の両方があることから、ほぼ横ばいと考えられます。「こんにちは赤ちゃん事業」や「家庭訪問型子育て支援委託事業」等、子育ての悩みや不安を相談できる事業に取り組み、利用者が増えていることから、成果は低下していないものと推測されます。						--- 目標達成度 ---

基本事項04 各種経済的支援の推進

指標①	子ども一人当たりに対して経済的支援を行った金額	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【こども課】	円	175,748	176,855	177,207		
評価	(状況) 平成29年度の子育て家庭への経済的支援を行った金額は、約2,216,148千円で、18歳未満の児童数で除した一人当たりの金額は177,207円で、平成27年度以降、年々増加傾向にあります。 (原因) 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、児童手当、こども医療費助成、児童扶養手当、就学援助、すくすく赤ちゃん応援券等、該当者への適切な支援を行っているためと考えられます。また、基本事項を構成する「私立幼稚園就園奨励事業」と「私立幼稚園補助事業」については、私立幼稚園5園のうち4園が認定こども園に移行したため、成果指標は低下しています。						--- 目標達成度 ---

基本事項05 発達支援サービスの充実

指標①	発達支援・療育サービス事業の利用者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	人	106	129	162		
評価	(状況) 発達支援・療育サービス事業の利用者数は162人で、前年度と比較し33人増加しました。 (原因) 市内の障がい児通所施設は、平成27年度まで3事業所（たけのこ園、はるにれ園、はっぴいチャイルド）でしたが、利用希望者が多いことから、平成28年度に3事業所（ルーチェ、プレップスクール、ひだまりの庭）増加し、さらに、平成29年度に3事業所（ベストキッド、チェェコリ、らぼらぼら）増加したため、合計9事業所となりました。このため利用者数（通所児童数）が増加したと考えられます。						--- 目標達成度 ---

基本事項05 発達支援サービスの充実

指標②	継続的に発達支援サポートしている人数（サポートブックで登録管理している人数）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	人	17	29	37		
評価	(状況) 継続的に発達支援サポートしている人数は37人で、前年度と比較し8人増加しました。 (原因) 障がい児については、早期発見、早期対応が求められており、乳幼児健康診査での早期発見や乳幼児すこやか発達支援事業により、早期の関わりを行った結果が8人の増加につながったと考えられます。						--- 目標達成度 ---

政策 11 明日を担う子どもの育成

施策 03 学校教育の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、市民	変化の激しい社会に的確に対応できる「生きぬく力」が備わっています。

施策の成果状況と評価

指標①	総合学力調査による学習定着度（正答率が全国平均より高い科目）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	須賀川市総合学力調査	【学校教育課】	科目	9/14	9/14	6/14	→
評価	<p>(状況) 総合学力調査による学習定着度（正答率が全国平均より高い科目）は、14科目中6科目です。全国平均を下回った8科目の正答率は、全国平均正答率との差が3%以内で収まっており、概ね全国平均正答率と同程度です。</p> <p>(原因) 学んだことを生かして課題を解決する活用問題の正答率が、小学5・6年の算数科、中学2年の数学科において全国よりわずかに低く、指標を下回っている原因と考えられます。児童生徒の活用力を向上させるためには、教員の授業力向上が不可欠であることから、教育研修センターのセミナー研修に新講座を開設する、教員を指導する要請訪問を充実させるなど、教員の授業力向上を図ります。</p>	グラフ表示はありません					目標達成度

指標②	児童・生徒の道徳性が身についていると思う市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	-	23.6	-	→	---
評価	<p>(状況) 児童・生徒の道徳性が身についていると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、学校評価アンケートによると、豊かな心の育成が十分達成されているとの評価が38.4%であり、概ね達成されているとの評価は57.7%と高い状況です。一方、十分でないとする評価が3.8%になっています。多くの小・中学校で、道徳性育成の取組状況を保護者や地域に伝えていますが、一部の地域では取組状況が外部からわかりづらいということが考えられます。</p>						目標達成度

指標③	全国体力・運動能力調査による種目別平均値を超えた種目数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【学校教育課】	種目	12	16	12	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 34種目中12種目で全国平均値を上回っています。特に小学5年女子では8種目中5種目が上回っていますが、中学2年女子では、9種目中1種目が上回っている状況です。</p> <p>(原因) 中学校に比べ小学校男女で全国平均を上回っている種目が多いことから、各小学校で取り組んでいる運動身体づくりプログラム等の取組の成果があらわれていると考えられます。また、水泳交歓会や地区陸上交流大会の実施による運動機会の確保が好影響を与えていると考えられます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の充実
- 基本事項 03 健康教育の充実
- 基本事項 04 学校教育と社会教育の連携・融合
- 基本事項 05 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 06 ふるさと学習の推進

基本事項01 確かな学力の育成

指標 ①	国語と算数（数学）が好きと答えた児童・生徒の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【学校教育課】	%	65.3	64.5	68.1	➔	☀ (向上)
評 価	全国学力学習状況調査						
	<p>(状況) 国語と算数（数学）が「好き」と答えた児童・生徒の割合は、68.1%で、前年度を3.6ポイント上回りました。全国平均は60.6%で、本市は7.5ポイント上回っています。同調査の意識調査で、小学6年生が国語と算数を「好き」または「やや好き」と答えた割合は70.7%です。これは全国平均を7.5%、県平均を3.1%上回っています。また、中学3年では65.6%です。これは全国平均を7.6%、県平均を5.7%上回っています。</p> <p>(原因) 各学校において、子どもたちに興味関心を高める授業改善の工夫がなされているためと考えられます。</p>						---

基本事項01 確かな学力の育成

指標 ②	学力調査における最終学年（小6の国・算、中3の国・数・英）の平均正答率が全国平均を上回った科目数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【学校教育課】	科目	1	2	2	➔	☁ (横ばい)
評 価	<p>(状況) 学力調査における最終学年（小6の国・算、中3の国・数・英）の平均正答率が全国平均を上回った科目数は2科目です。正答率が全国平均と比べると、中学3年国語が2.3ポイント、数学は3ポイント上回りました。中学3年英語は、標準スコアでは0.2ポイント下回りました。小学6年国語・算数は全国平均と比べ下回っていますが、標準スコアで全国平均と比べると差が0.1ポイント以内となっており、ほぼ全国平均といえます。</p> <p>(原因) 小中一貫教育の推進において、小・中学校合同の授業研究会の実施や家庭との連携を深める取組が行われ、学力の向上に繋がっていると考えられます。</p>						

基本事項02 心の教育の充実

指標 ①	不登校児童・生徒数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【学校教育課】	人	54	58	64	➔	☁ (横ばい)
評 価	<p>(状況) 不登校児童・生徒数は64人で、前年度の58人と比較し6人増加しました。平成28年度の1,000人当たりの不登校出現数をみると、全国が13.5人、県が12.7人であるのに対し、本市は8.6人で、全国、県と比較して少ない出現数となっています。</p> <p>(原因) 平成18年度から28年度までの10年間をみると、本市の1,000人当たりの不登校出現数は7人～9人程度で推移しているものの、緩やかな増加傾向にあります。要因としては、学校生活に起因することよりは、むしろ家庭や本人に係る問題が年々増加しており、関係機関との連携が必要となることから、学校が積極的に早期に不登校と認定し組織的に対応する傾向にあるためと考えられます。</p>						

基本事項02 心の教育の充実

指標 ②	不登校児童・生徒学校復帰率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【学校教育課】	%	26.4	20.7	23.4	➔	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 不登校児童・生徒学校復帰率は23.4%で、前年度と比較し2.7ポイント増加しました。前年度からは、ほぼ横ばいで推移しています。</p> <p>(原因) スクールカウンセラーや心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーを配置し、各学校の相談体制や支援体制が整いつつあり、不登校の状況となったとしても、各学校における多角的な支援により、復帰できる環境が整ってきていると考えられます。</p>						

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	確かな学力の育成
基本事項 02	心の教育の充実
基本事項 03	健康教育の充実
基本事項 04	学校教育と社会教育の連携・融合
基本事項 05	開かれた学校づくりの推進
基本事項 06	ふるさと学習の推進

基本事項03 健康教育の充実

指標①	肥満児童・生徒の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	12	14	11	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 肥満児童・生徒の割合は11%で、前年度と比較し3ポイント改善しています。小学5年男子が14%、中学2年男子が13%、小学5年女子が9%、中学2年女子が8%と、男子が高くなっています。全ての学年で男女ともに、前年度を大きく下回っています。</p> <p>(原因) 食育、保健、運動を関連させ、継続的に肥満対策指導を行ってきた成果が出ています。特に、各学校から保護者へ、該当児童生徒の医療機関への受診を勧めた効果が大きいと考えられます。</p>						目標達成度

基本事項03 健康教育の充実

指標②	運動が好きな児童・生徒の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	55.12	55.18	58.40	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 運動が好きな児童・生徒の割合は58.40%で、前年度と比較し3.22ポイント増加しています。小学5年男子では72.3%と高く、中学2年女子では41.5%と低くなっています。</p> <p>(原因) 中学2年女子の全国平均との差が、前年度の9.8ポイントから5.6ポイントと改善したことが大きな要因です。運動に関しては「好き」と「嫌い」の二極化が進んでいますが、各学校で運動の楽しさを実感させる工夫を実践していきます。</p>						目標達成度

基本事項03 健康教育の充実

指標③	運動能力の向上を要する児童・生徒の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	26.00	22.60	23.45	→	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 運動能力の向上を要する児童・生徒の割合は、23.45%となり、前年度と比較し0.85ポイント増加しました。全国との比較では、小学5年男女で平均を大きく下回っていますが、中学2年では男女とも平均を上回っています。</p> <p>(原因) 各学校で授業や体育的行事など、運動する機会がしっかり確保されています。今後も運動能力の向上を要する児童・生徒に対して、授業を通して課題解決の場の設定や意欲の向上などを継続していきます。</p>						目標達成度

基本事項04 学校教育と社会教育の連携・融合

指標①	学社連携・融合事業の参加者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	人	1,635	2,054	1,966	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 学社連携・融合事業への参加者数は1,966人で、前年度と比較しわずかに減少しましたが、平成24年度基準値の1,325人より641人上回っています。</p> <p>(原因) 地区ごとの連携・協力が一段と深まり、事業実施についても地域の特性を生かしながら創意工夫が図られ、円滑な運営のもと、事業を展開できたことが、参加人数の増加に表れています。</p>						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の充実
- 基本事項 03 健康教育の充実
- 基本事項 04 学校教育と社会教育の連携・融合
- 基本事項 05 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 06 ふるさと学習の推進

基本事項05 開かれた学校づくりの推進

指標 ①	学校の教育活動へ参加・協力している市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【学校教育課】	%	-	13.6	-	→	
評 価	<p>(状況) 学校の教育活動へ参加・協力している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、各学校の学校関係者評価の結果において「地域とともにある学校」についての評価が最も高いことから、学校教育活動への市民の参画は順調であると考えられます。学校がホームページや学校便りなどで教育活動の取組状況を地域や保護者に発信したり、オープンスクールデーやフリー参観日を設定したりするなど、地域に開かれた学校づくりを積極的に推進しています。</p>	(%)					---
							目 標 達成度

基本事項05 開かれた学校づくりの推進

指標 ②	学校評議員による学校評価の平均点数 (5点満点)	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【学校教育課】	点	4.18	4.14	4.26	→	
評 価	<p>(状況) 学校評議員による学校評価の平均点数は4.26点で、前年度から0.12点増加し、順調に推移しています。 (原因) 各学校においては、学校評議員会を計画的に開催し、学校教育活動の点検や改善に役立てています。また、合同学校評議員会を開催する中学校区が5校区から6校区へ増え、児童・生徒9年間の成長を地域単位で考えることが学校への評価につながってきていると考えられます。</p>	(点)					(横ばい)
							目 標 達成度

基本事項06 ふるさと学習の推進

指標 ①	ふるさと読本を使用した授業時数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【学校教育課】	回	398	306	323	→	
評 価	<p>(状況) 活用状況調査より、活用回数は323回で、前年度と比較し17回増加しています。小学校では主に4年生以上の高学年で、中学校では主に1年生で活用しています。小・中学校ともに社会科や総合学習で活用している学校が多くなっています。 (原因) 年度初めの校長会等で活用を呼びかけており、教職員の理解が進んでいると考えられます。今後も、効率的、効果的な活用について例示しながら、周知していくことが必要であると考えます。</p>	(回)					(横ばい)
							目 標 達成度

政策 11 明日を担う子どもの育成

施策 04 学校教育施設の整備・充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
小・中学生 小・中学生の保護者	児童・生徒が快適な学校生活を送れるよう施設の整備・充実が図られます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	施設維持管理上の不具合による教育支障件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【教育総務課】	件	0	0	0	➔	☀ (向上)
評 価	(状況) 施設維持管理上の不具合による教育支障件数はなく、保守、維持修繕と改修により安全な教育環境を保っています。 (原因) 毎年各学校を訪問し実施している営繕調査や学校からの要望、破損の報告について、緊急度や重要度を判断し、修繕を行うとともに、改修工事を計画的に執行したことが成果につながっています。	(件)					目 標 達成度	☀ (達成)

指標 ②	敷地内における事件事故に巻き込まれた件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【教育総務課】	件	0	0	0	➔	☀ (向上)
評 価	(状況) 学校敷地内における施設の不備による事故発生はなく、学校での通常管理と修繕、改修により安全な施設管理が行われています。 (原因) 学校では適正な施設管理が行われており、毎年全学校を訪問し実施している営繕調査等により、危険箇所等を把握し、必要な修繕を行っているためです。	(件)					目 標 達成度	☀ (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 校舎等の耐震化の推進

基本事項 02 教育環境の計画的整備の推進

基本事項01 校舎等の耐震化の推進

指標 ①	校舎・体育館耐震化率（総合計画開始年度からの累計）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【教育総務課】	%	77.3	94.7	98.6	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 校舎・体育館の耐震化率は98.6%で平成24年度基準値の66.7%と比較し31.9ポイント、前年度実績値と比較し3.9ポイント増加しています。耐震化が完了していない施設は、阿武隈小学校校舎1棟のみで、平成30年度に補強工事を実施する予定です。 (原因) 耐震補強工事を進めていた長沼小学校の2期工事と改築を進めていた稲田小学校（稲田学園）の工事が完了したためです。</p>						目標 達成度
		☑ (達成)					

基本事項02 教育環境の計画的整備の推進

指標 ①	改修等により安全で適正な学校施設になった延べ件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【教育総務課】	件	41	62	81	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 改修等により安全で適正な学校施設になった延べ件数は81件で、平成24年度基準値の11件と比較し70件増加、前年度実績値と比較し19件増加しています。 (原因) 学校を訪問し実施している営繕調査により、修繕の優先度を判断し、雨漏りや外壁の改修工事などの防水関係の改修を計画的に実施したためです。</p>						目標 達成度

政策 11 明日を担う子どもの育成

施策 05 家庭教育の向上と青少年育成の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	家庭、学校や地域社会がそれぞれの特性を生かしながら密接に連携を図り、青少年が健全に育成されています。

施策の成果状況と評価

指標①	家庭・学校、地域社会が密接に連携して家庭・青少年の教育がなされていると思う市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生涯学習スポーツ課】	%	-	44.3	-	→
評価	<p>(状況) 家庭・学校、地域社会が密接に連携して家庭・青少年の教育がなされていると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、平成29年度の状況は、前年度と同等程度であると推測されます。家庭、学校、地域社会が連携している事業や行事等の内容について、市民に理解されていない部分があると考えられます。</p>						目標達成度

指標②	青少年の補導者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生涯学習スポーツ課】	人	145	155	107	→
評価	<p>(状況) 青少年の補導者数は107人で、深夜はいかい、喫煙による補導が減少し、前年度と比較し48人減少しています。 (原因) 主な要因としては、関係機関と連携した補導活動の実施による効果をはじめ、少子化による子どもそのものの減少、さらに青少年が屋外で活動する機会が少なくなっているなど、青少年を取り巻く社会環境の変化が考えられます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 家庭教育の充実
基本事項 02 青少年教育の充実
基本事項 03 青少年を取り巻く社会環境への対応

基本事項01 家庭教育の充実

指標①	基本的な生活習慣が身につけている園児の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	98.0	98.4	97.3	→	(横ばい)
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身につけている園児の割合は97.3%で、前年度と比較し1.1ポイント低下しましたが、高位で推移しています。 (原因) 各家庭において、基本的な生活習慣を身につけさせるための手立てや実践力がしっかり定着しているためだと思われます。4年連続で高い実績値を示し、家庭教育事業の成果が十分に表れています。						目標達成度

基本事項01 家庭教育の充実

指標②	基本的な生活習慣が身につけている児童の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	74.1	73.2	78.9	→	(向上)
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身につけている児童の割合は78.9%で、前年度と比較し5.7ポイント向上しました。 (原因) 各家庭において、基本的な生活習慣を身につけさせるための手立て等が実践されていることや、各小学校で行われている家庭教育学級等の講座関係が充実してきていることが要因と考えられます。						目標達成度

基本事項01 家庭教育の充実

指標③	基本的な生活習慣が身につけている生徒の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	74.9	80.2	79.4	→	(横ばい)
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身につけている生徒の割合は79.4%で、前年度と比較し横ばいの状況です。 (原因) 各家庭において、基本的な生活習慣を身につけさせるための手立てがしっかり定着しており、実践されているためと考えられます。各中学校で行われている家庭教育学級等の講座関係が充実しており、基本的な生活習慣の定着が図られている成果だと考えられます。						目標達成度

基本事項02 青少年教育の充実

指標①	青少年教育事業への延べ参加者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	人	6,388	6,513	6,738	→	(向上)
評価	(状況) 青少年教育事業への延べ参加者数は6,738人で、前年度と比較し225人増加しました。 (原因) 講座、イベント内容の充実や、開催講座が地域の青少年たちに認知され、浸透してきたことなどが挙げられます。						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 家庭教育の充実
- 基本事項 02 青少年教育の充実
- 基本事項 03 青少年を取り巻く社会環境への対応

基本事項03 青少年を取り巻く社会環境への対応

指標 ①	少年補導員の街頭補導における通報、声かけ件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【生涯学習スポーツ課】	件	88	188	170	→	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 少年補導員の街頭補導における通報、声かけ件数は170件で、前年並みの活動実績でした。延べ408人の少年補導員が参加し、72回の街頭補導を実施しました。</p> <p>(原因) こまめな見回りと声かけを行う「愛の一声運動」が定着してきたことが要因と考えられます。</p>	<p>(件)</p>					目標 達成度

基本事項03 青少年を取り巻く社会環境への対応

指標 ②	青色回転灯防犯パトロール実施における通報件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【生涯学習スポーツ課】	件	0	0	0	→	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 青色回転灯防犯パトロール実施における通報件数は0件で、前年度と同水準となっています。</p> <p>(原因) 防犯活動や不審者対策のため、青色回転灯防犯パトロールを装着した公用車10台が、計53回パトロール活動を実施しており、こまめな見回りが効果を発揮しているものと考えられます。</p>	<p>(件)</p>					目標 達成度
		☑ (達成)					